

令和4年度  
運動・スポーツ活動等の実態調査  
市民・児童生徒アンケート結果

## 1. 調査概要

---

### 1 市民アンケート

●調査方法

郵送調査

※回答のみインターネットも可

●調査対象者

18歳以上の市民4,000人(無作為抽出)

●回収数

1,146通 回収率 28.7%(郵送871件、インターネット275件)

●調査実施期間

令和4年9月13日(火)～10月7日(金)

### 2 児童生徒アンケート

●調査方法

幌南小学校、中央中学校、新川高等学校に依頼し、児童生徒へ調査を実施

●調査対象者

小学校1年生から高校3年生までの児童生徒382人

※小学校・中学校・高校 各学年1クラス

●調査実施期間

令和4年9月30日(金)～10月19日(水)

### 3 主な調査内容

・運動・スポーツ実施状況について

・ウインタースポーツについて

・スポーツ観戦について

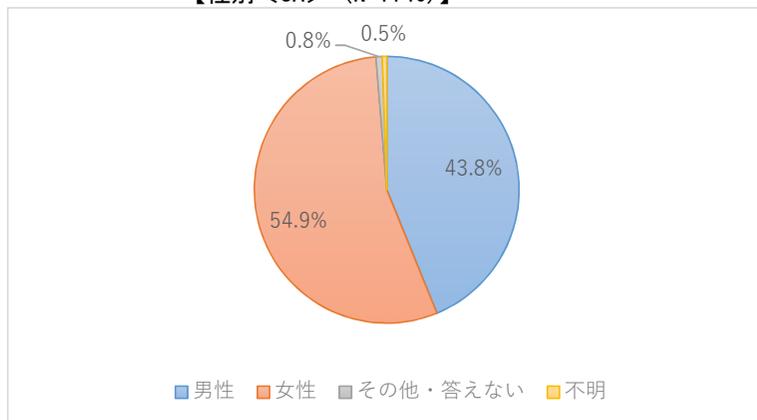
・スポーツボランティアについて(市民アンケートのみ)

## 1. 回答者属性(市民アンケート)

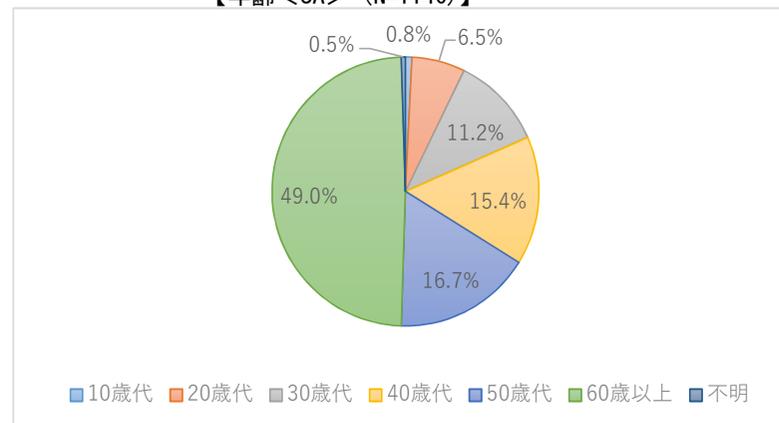
※SA=単数回答 MA=複数回答

※未回答については、不明として算入

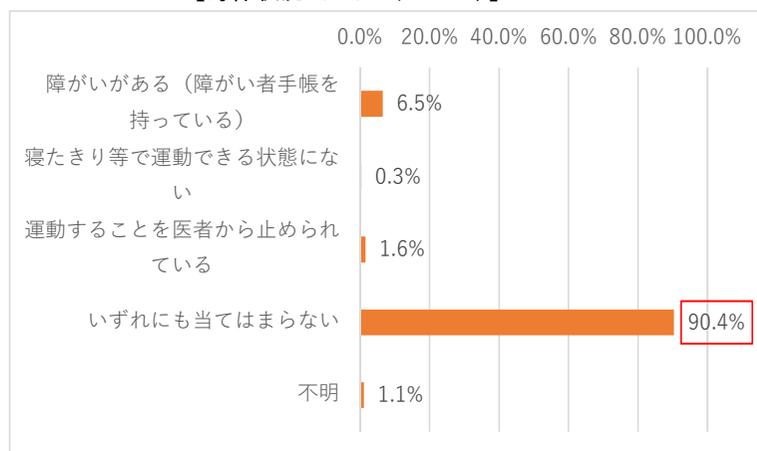
【性別<SA> (N=1146)】



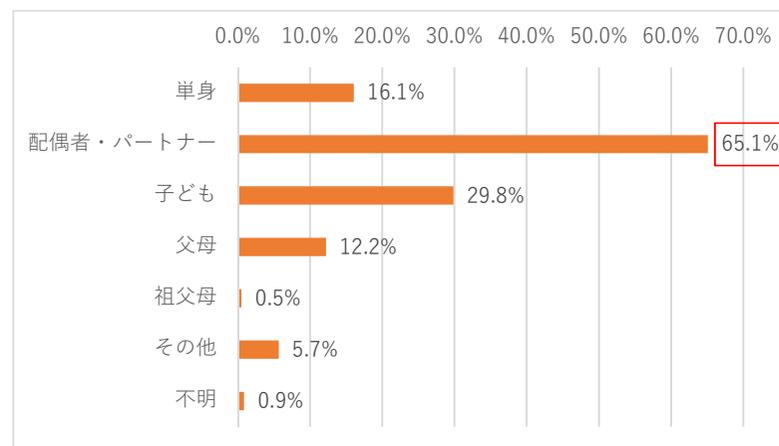
【年齢<SA> (N=1146)】



【身体状況<SA> (N=1146)】



【同居人<MA> (N=1146)】



○性別では「男性(43.8%)」、「女性(54.9%)」と女性の回答者が多い。

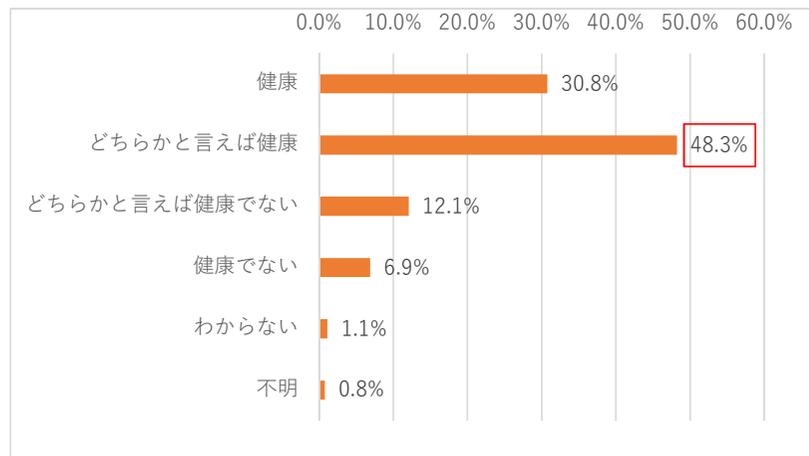
○年齢は「60歳以上(49.0%)」が最も多く、次いで「50歳代(16.7%)」の順で多くなっている。

○身体状況については「いずれにも当てはまらない(90.4%)」が最も多く、次いで「障害がある(障がい者手帳をもっている)(6.5%)」の順で多くなっている。

○同居者については「配偶者・パートナー(65.1%)」が最も多く、次いで「子ども(29.8%)」、「単身(16.1%)」の順で多くなっている。

## 1. 回答者属性(市民アンケート)

【健康状況<SA> (N=1146)】



### 【調査結果】

○健康状況については「健康である」とする割合が79.2%（「どちらかと言えば健康(48.3%)」+「健康(30.8%)」)、「健康でない」とする割合が19.0%（「どちらかと言えば健康でない(12.1%)」+「健康でない(6.9%)」）となっている。

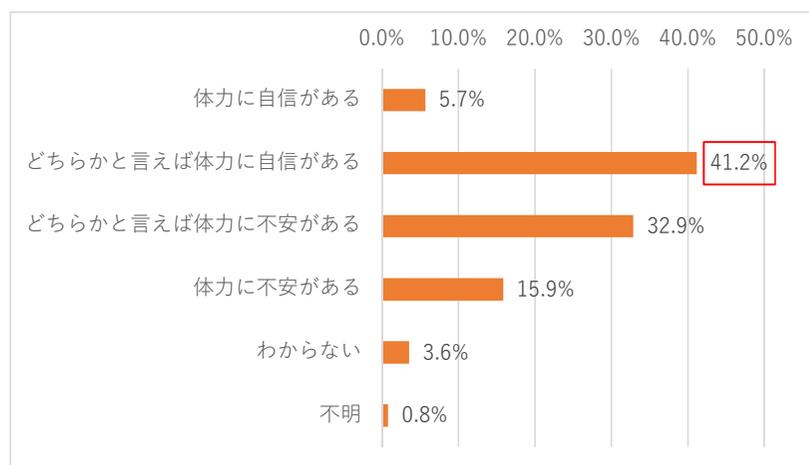
### 【国が実施した令和3年度「スポーツの実施状況等に関する世論調査」の結果】

○「健康である」とする割合が80.7%（「健康である」32.5%+「どちらかといえば健康である」48.2%）、「健康でない」とする割合が16.9%（「どちらかといえば健康でない」12.0%+「健康でない」4.9%）となっている。

### 【国の調査結果との比較】

○国の調査結果より、「健康である」とする割合が低く、「健康でない」とする割合が高い結果となった。

【体力<SA> (N=1146)】



### 【調査結果】

○体力については「体力に自信がある」とする割合が46.9%（「体力に自信がある(5.7%)」+「どちらかといえば体力に自信がある(37.9%)」)、「体力に不安がある」とする割合が48.8%（「どちらかといえば体力に不安がある(32.9%)」+「体力に不安がある(15.9%)」）となっている。

### 【国の調査結果】

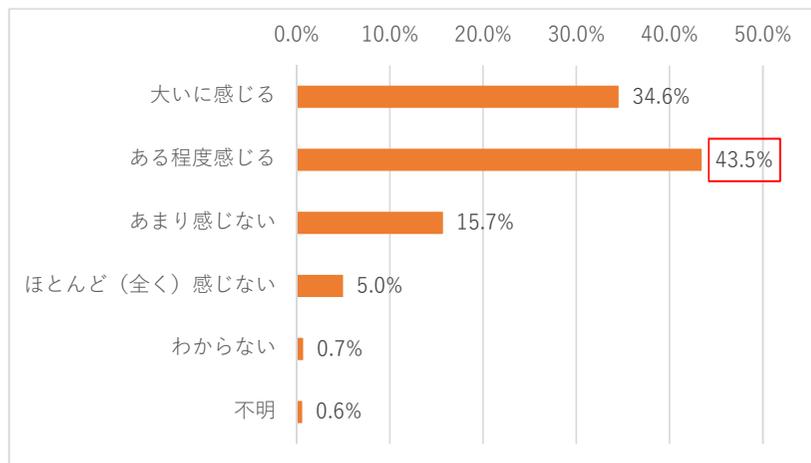
○「体力に自信がある」とする割合が45.0%（「体力に自信がある」7.1%+「どちらかといえば体力に自信がある」37.9%）、「体力に不安がある」とする割合が51.2%（「どちらかといえば体力に不安がある」36.7%+「体力に不安がある」14.5%）となっている。

### 【国の調査結果との比較】

○国の調査結果より、「体力に自信がある」とする割合は高く、「体力に不安がある」とする割合は低い結果となった。

## 1. 回答者属性(市民アンケート)

【F7】 運動不足に対する意識<SA> (N=1146)



### 【調査結果】

○ 普段運動不足を感じるかを聞いたところ、「感じる」とする割合が 78.1% (「大いに感じる」34.6% + 「ある程度感じる」43.5%)、「感じない」とする割合が 20.7% (「あまり感じない」15.7% + 「ほとんど(全く)感じない」5.0%)となっている。

### 【国の調査結果】

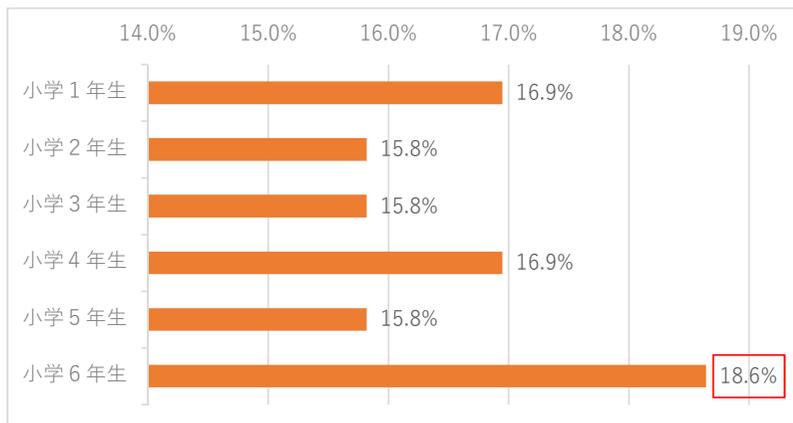
○ 普段運動不足を感じるかを聞いたところ、「感じる」とする割合が 77.9% (「大いに感じる」34.8% + 「ある程度感じる」43.1%)、「感じない」とする割合が 20.3% (「あまり感じない」15.2% + 「ほとんど(全く)感じない」5.1%)となっている。

### 【国の調査結果との比較】

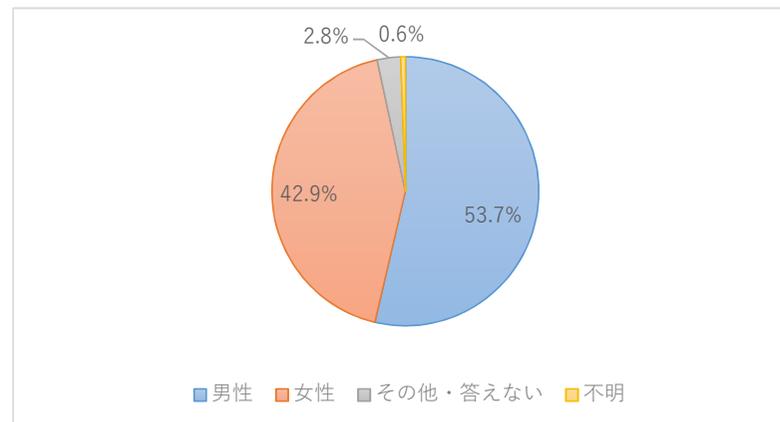
○ 国の調査とほぼ同様の結果となった。

## 1. 回答者属性(小学生)

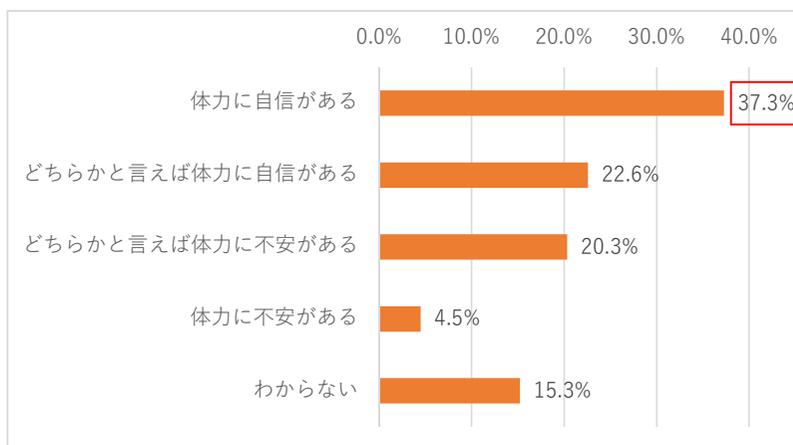
【学年<SA>(N=177)】



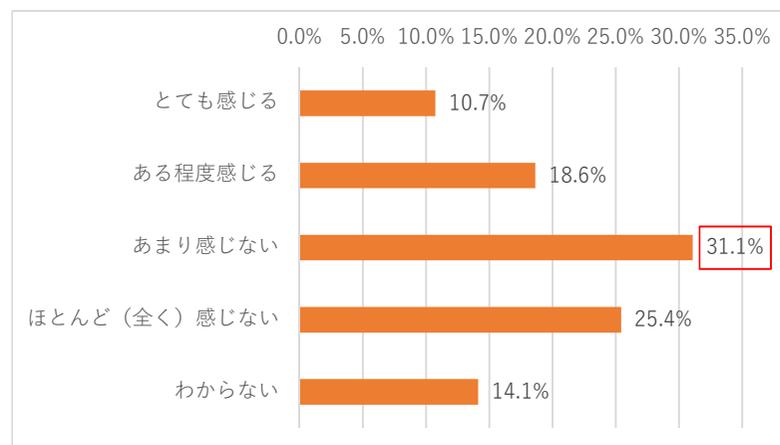
【性別<SA>(N=177)】



【体力について<SA>(N=177)】



【運動不足に対する意識<SA>(N=177)】

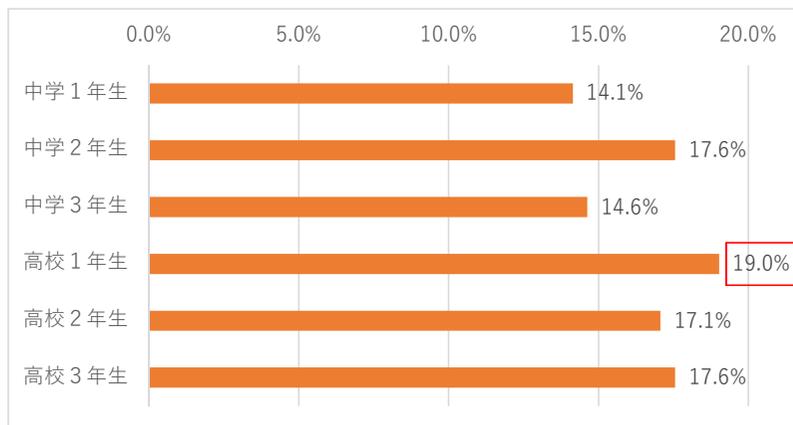


### 【調査結果】

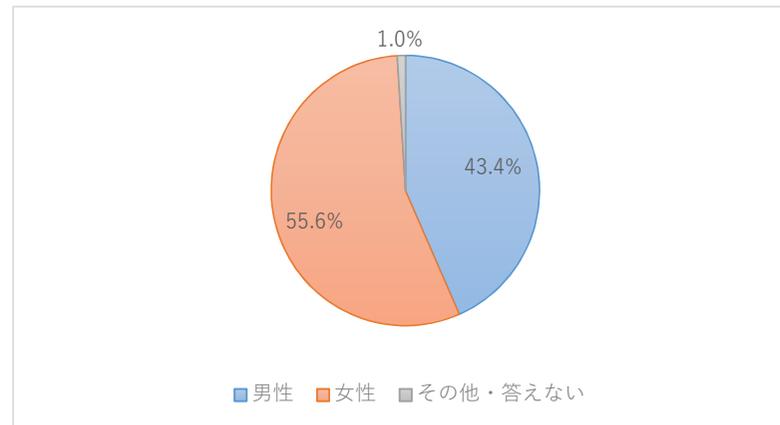
- 学年は「小学6年生(18.6%)」が最も多く、次いで「小学1年生(16.9%)」「小学4年生(16.9%)」の順で多くなっている。
- 性別では「男性(42.9%)」、「女性(53.7%)」と女性の回答者が多い。
- 体力については「体力に自信がある(37.3%)」が最も多く、次いで「どちらかと言えば体力に自信がある(22.6%)」の順で多くなっている。
- 運動不足に対する意識では「あまり感じない(31.1%)」が最も多く、次いで「ほとんど(全く)感じない(25.4%)」の順で多くなっている。

## 1. 回答者属性(中高生)

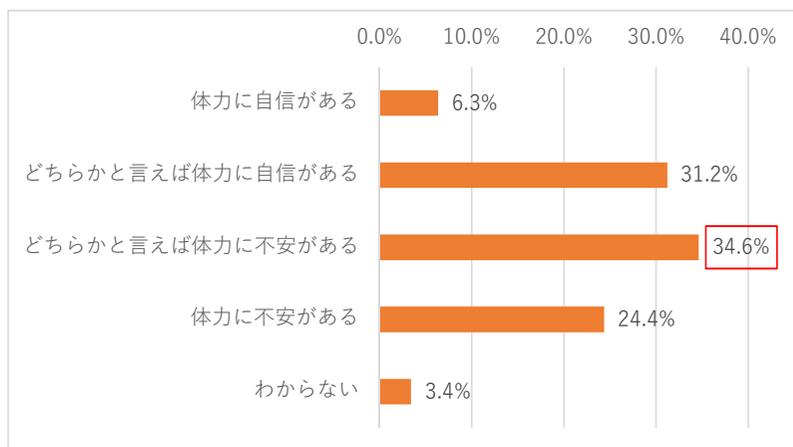
【学年<SA>(N=205)】



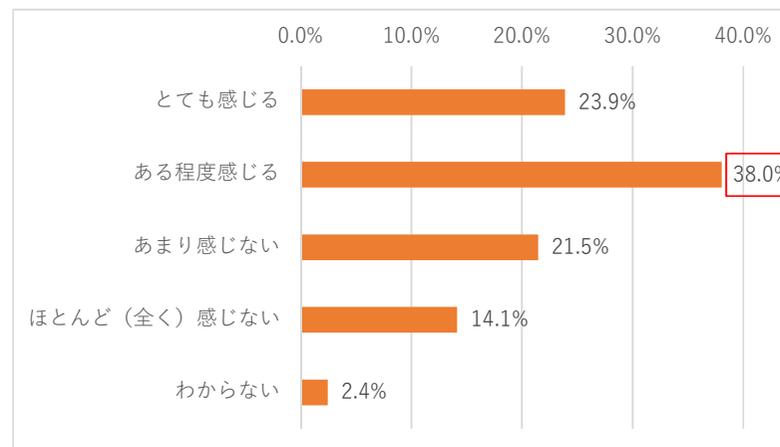
【性別<SA>(N=205)】



【体力について<SA>(N=205)】



【運動不足に対する意識<SA>(N=205)】



### 【調査結果】

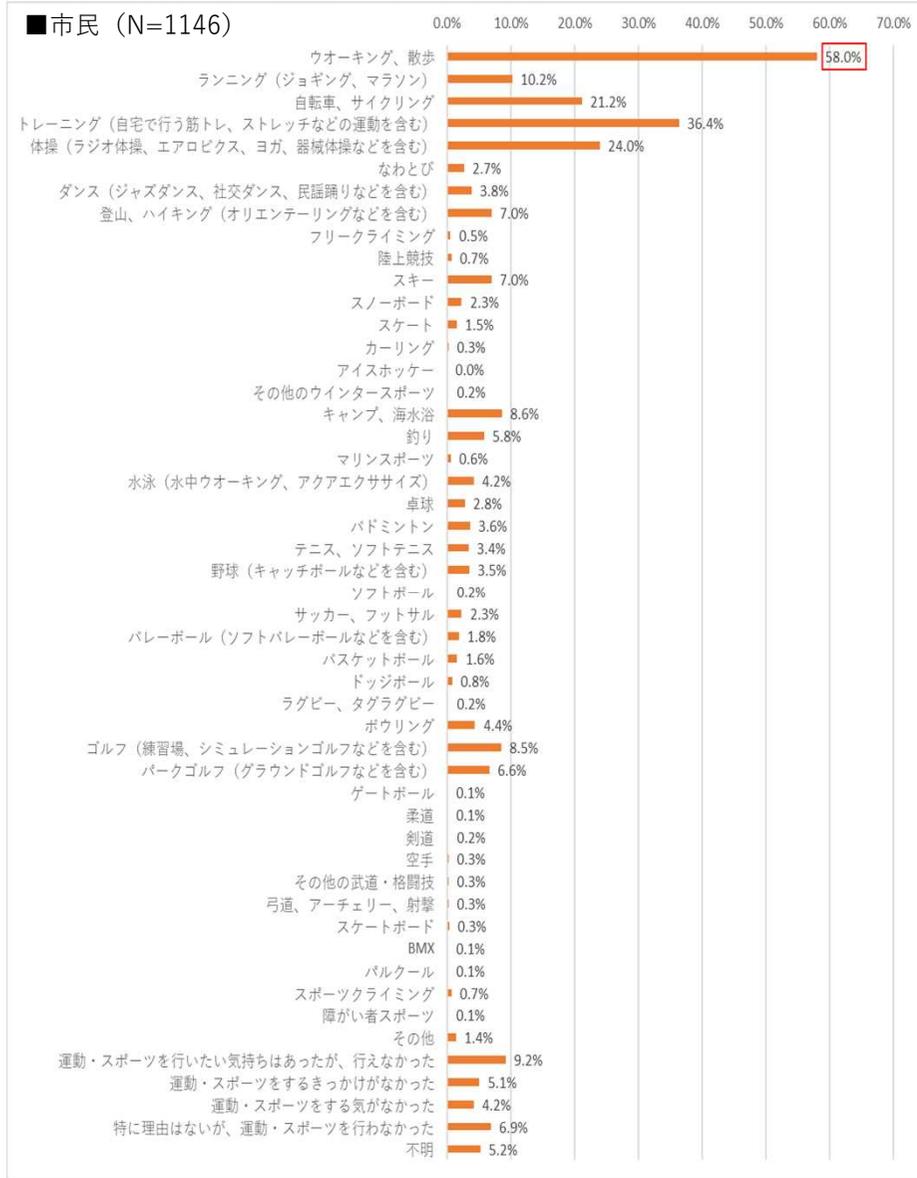
○学年は「高校1年生(19.0%)」が最も多く、次いで「中学2年生(17.6%)」「高校3年生(17.6%)」の順で多くなっている。

○性別では「男性(55.6%)」、「女性(43.4%)」と男性の回答者が多い。体力については「どちらかと言えば体力に不安がある(34.6%)」が最も多く、次いで「どちらかといえば体力に自信がある(31.2%)」の順で多くなっている。

○運動不足に対する意識では「ある程度感じる(38.0%)」が最も多く、次いで「とても感じる(23.9%)」の順で多くなっている。

## 2. 運動・スポーツ実施状況について

【過去1年以内に行った運動・スポーツ<MA>】



### 【調査結果】

○1年間に行った運動・スポーツの種目については、「ウォーキング」を挙げた者の割合が58.0%と最も高く、次いで「トレーニング(36.4%)」、「体操(24.0%)」の順となっている。  
○「運動やスポーツはしなかった」と答えた者の割合は25.4%（「運動・スポーツを行いたい気持ちはあったが、行えなかった(9.2%)」+「運動・スポーツをするきっかけがなかった(5.1%)」+「運動・スポーツをする気がなかった(4.2%)」+「特に理由はないが、運動・スポーツを行わなかった(6.9%)」)となっている。

### 【国の調査結果】

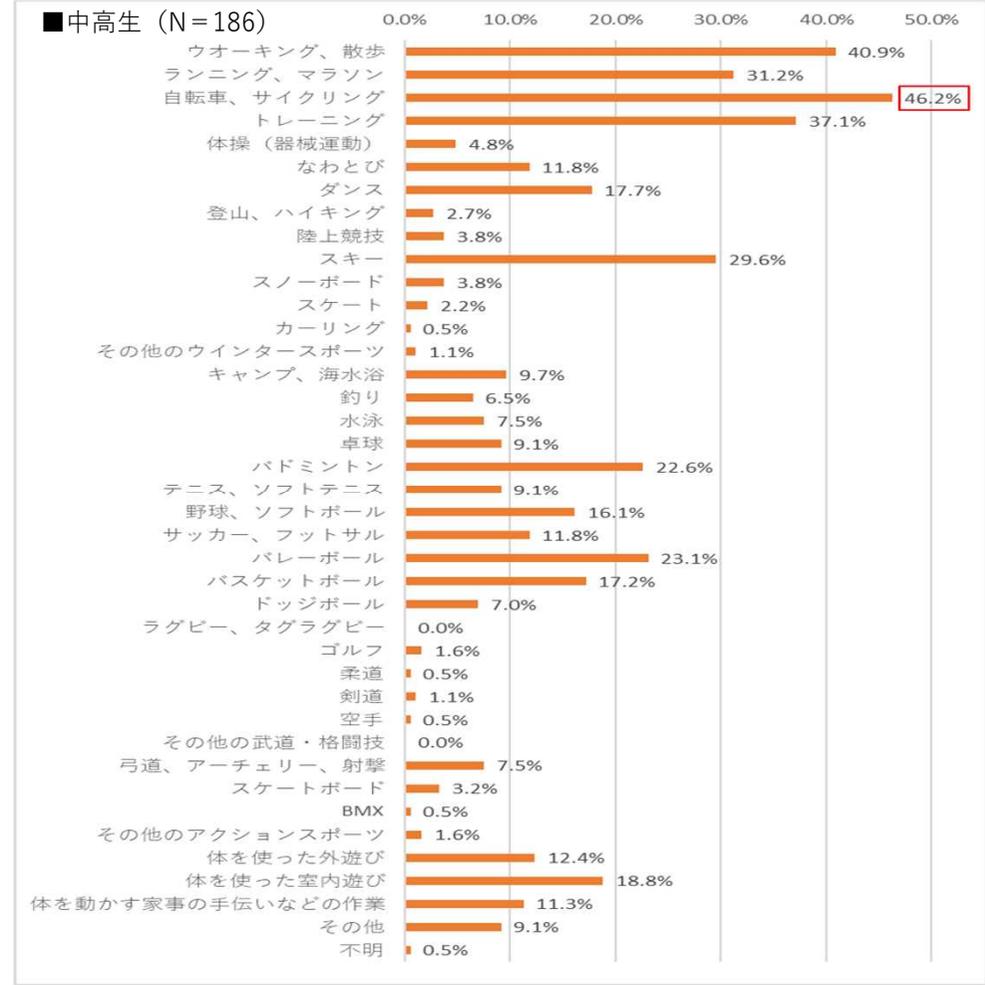
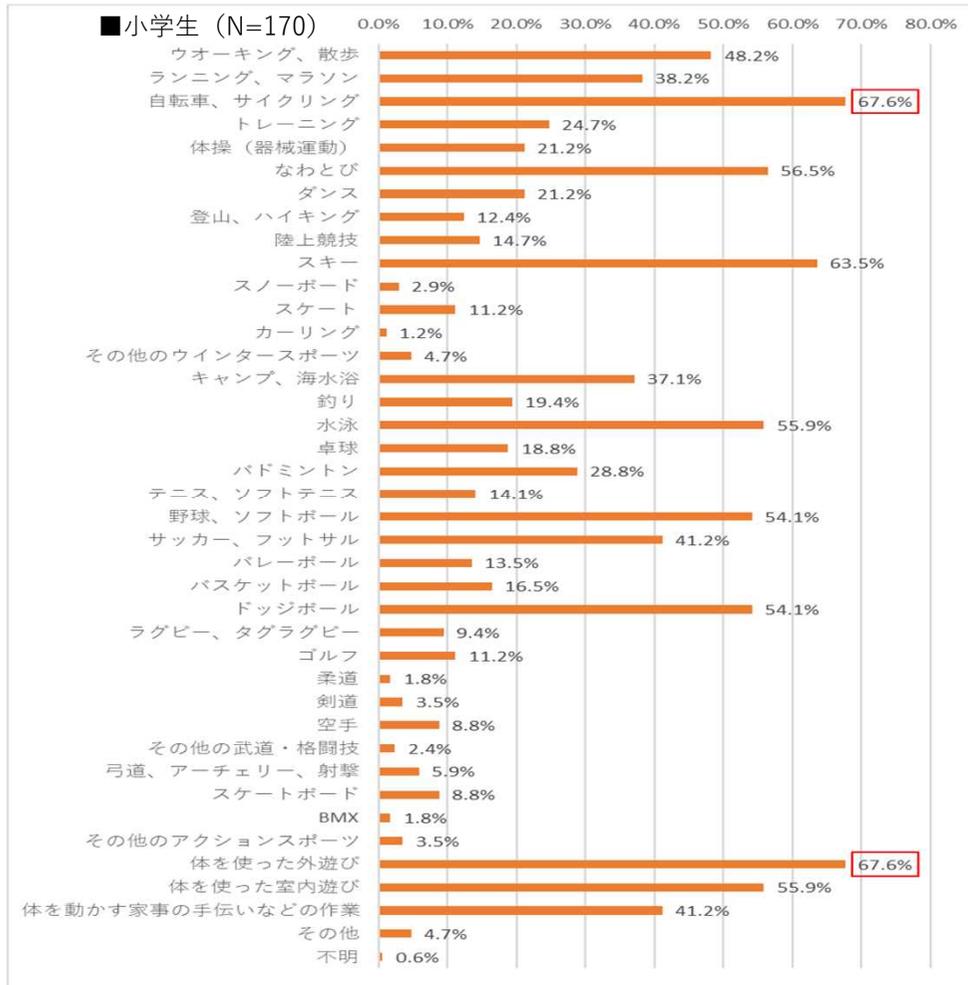
○1年間に行った運動・スポーツの種目については、「ウォーキング」を挙げた者の割合が64.1%と最も高く、次いで「体操」(15.2%)、「トレーニング」(14.4%)の順となっている。  
○「運動やスポーツはしなかった」と答えた者の割合は19.9%（「運動やスポーツはしなかった」17.3%+「わからない」2.6%）となっている。

### 【国の調査結果との比較】

○1年間に行った運動・スポーツの上位3種目が国と同様の結果となった。  
○運動やスポーツをしなかったと答えた割合は国よりも高くなっている。

## 2. 運動・スポーツ実施状況について

【過去1年以内に行った運動・スポーツ<MA>】



【調査結果】

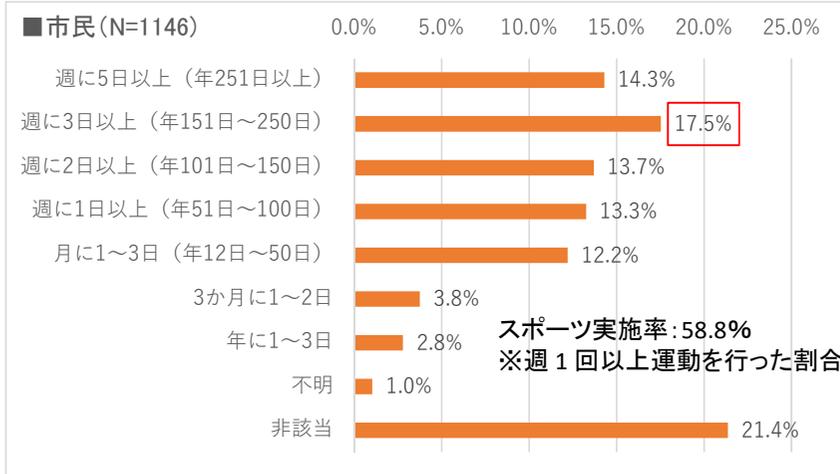
○過去1年以内に行った運動・スポーツの種類について、小学生は「自転車、サイクリング (67.6%)」「体を使った外遊び (67.6%)」が同順で最も多く、次いで「スキー (63.5%)」「なわとび (56.5%)」「水泳 (55.9%)」「体を使った室内遊び (55.9%)」「野球、ソフトボール (54.1%)」「ドッジボール (54.1%)」の順となっている。

【調査結果】

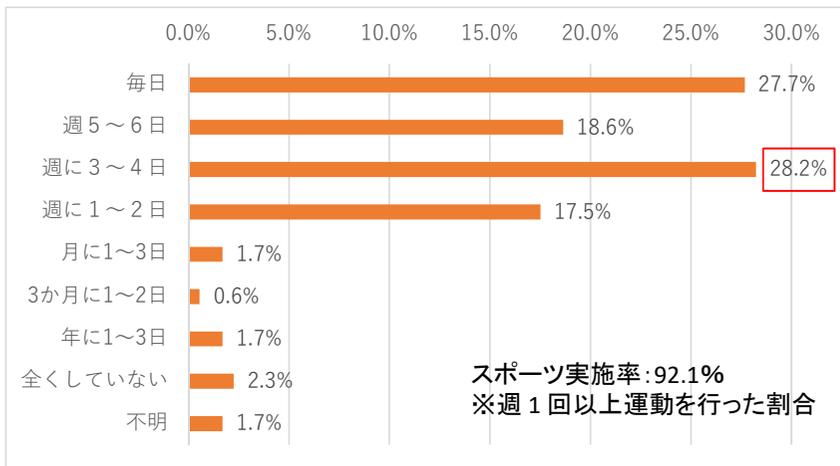
○中高生は、「自転車、サイクリング (46.2%)」が最も多く、次いで「ウォーキング、散歩 (40.9%)」「トレーニング (37.1%)」「ランニング、マラソン (31.2%)」「スキー (29.6%)」の順となっている。

## 2. 運動・スポーツ実施状況について

### 【過去1年以内に行った運動の頻度＜SA＞】



### ■ 小学生 (N=177)



#### 【調査結果】

○過去1年間に行った運動・スポーツの頻度について、小学生は「週3～4日 (28.2%)」「毎日 (27.7%)」「週5～6日 (18.6%)」「週1～2日 (17.5%)」の順となっており、週1回以上運動を行った割合(スポーツ実施率)は **92.1%** となっている。

#### 【調査結果】

○過去1年間に行った運動の頻度について、週に1日以上の運動・スポーツの実施率は **58.8%** (「週に5日以上 (14.3%)」+「週に3日以上 (17.5%)」+「週に2日以上 (13.7%)」+「週に1日以上 (13.3%)」) となっている。

○コロナ禍前であるR1の実施率58.6%とほぼ一緒の結果となった。

○週3日以上の同実施率は31.8% (「週に5日以上 (14.3%)」+「週に3日以上 (17.5%)」) となっている。

#### 【国の調査結果】

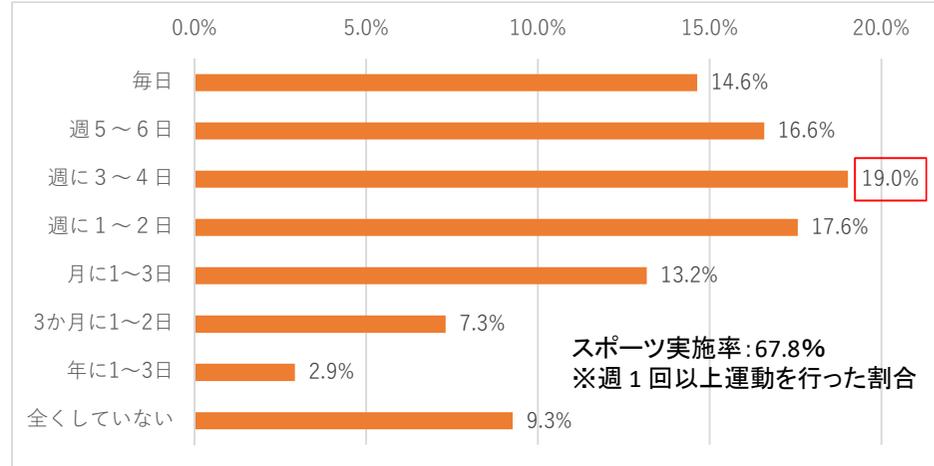
○週に1日以上の運動・スポーツ実施率は **56.5%** (「週に5日以上 (15.7%)」+「週に3日以上 (14.7%)」+「週に2日以上 (12.3%)」+「週に1日以上 (13.7%)」) となっている。

○週3日以上の同実施率は30.4% (「週に5日以上 (15.7%)」+「週に3日以上 (14.7%)」) となっている。

#### 【国の調査結果との比較】

○週に1日以上及び3日以上の実施率、は共に国を上回る結果となった。

### ■ 中学生 (N=205)



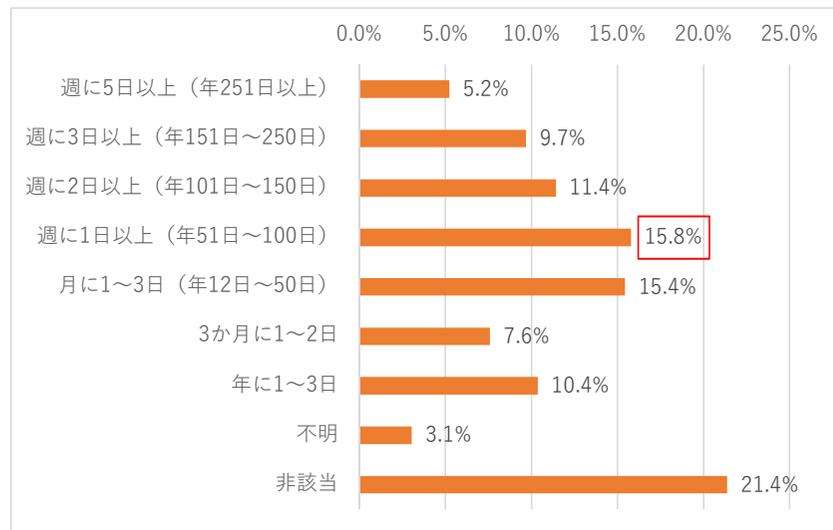
#### 【調査結果】

○中学生は「週3～4日 (19.0%)」「週1～2日 (17.6%)」「週5～6日 (16.6%)」「毎日 (14.6%)」の順となっており、週1回以上運動を行った割合(スポーツ実施率)は **67.8%** となっている。

## 2. 運動・スポーツ実施状況について

【過去1年以内に行った汗をかく運動・スポーツの頻度＜SA＞】 ※市民アンケートのみ

■市民 (N=1146)



### 【調査結果】

○過去1年間に行った運動・スポーツの日数(汗をかく運動を30分以上)については、週に1日以上の実施率は42.1%（「週に5日以上(5.2%)」+「週に3日以上(9.7%)」+「週に2日以上(11.4%)」+「週に1日以上(15.8%)」)となっている。

○週3日以上の実施率は14.9%（「週に5日以上(5.2%)」+「週に3日以上(9.7%)」)となっている。

○問2の週1回以上運動を行った割合58.8%より16.7%低い結果となった。

### 【国の調査結果】

○週に1日以上の実施率は39.6%（「週に5日以上(8.1%)」+「週に3日以上(9.4%)」+「週に2日以上(9.5%)」+「週に1日以上(12.6%)」)となっている。

○週3日以上の実施率は17.5%（「週に5日以上(8.1%)」+「週に3日以上(9.4%)」)となっている。

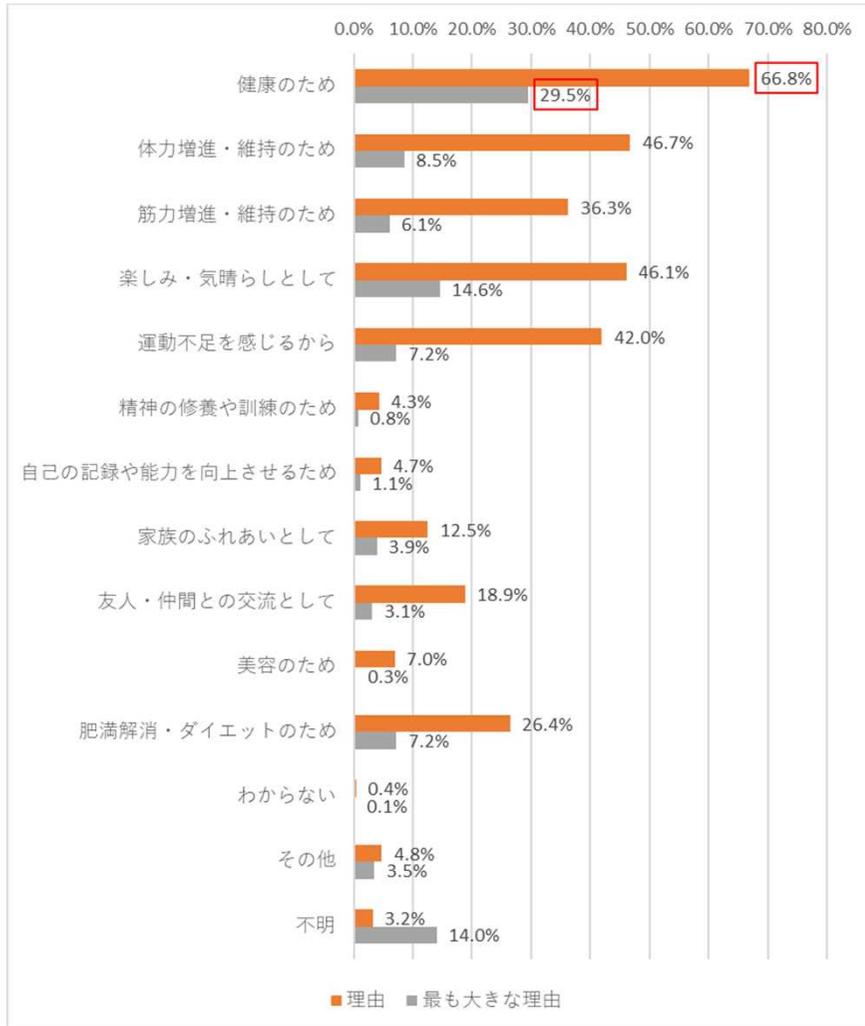
### 【国の調査結果との比較】

○週に1日以上の実施率は国を上回る結果となった。

## 2. 運動・スポーツ実施状況について

【過去1年以内に運動・スポーツを実施した理由<MA>】

■市民 (N=901) ※非該当除く



### 【調査結果】

○過去1年以内に運動・スポーツを実施した理由については「健康のため」を挙げた者の割合が66.8%で最も高く、次いで「体力増進・維持のため(46.7%)」、「楽しみ、気晴らしとして(46.1%)」、「運動不足を感じるから(42.0%)」、「筋力増進・維持のため(36.3%)」の順となっている。

○最も大きな理由では、「健康のため(29.5%)」「楽しみ、気晴らしとして(14.6%)」、「体力増進・維持のため(8.5%)」の順となっている。

### 【国の調査結果】

○「健康のため」を挙げた者の割合が76.2%で最も高く、次いで「体力増進・維持のため(52.0%)」、「運動不足を感じるから(48.1%)」、「楽しみ、気晴らしとして(42.1%)」、「筋力増進・維持のため(35.7%)」の順となっている。

最も大きな理由<単一回答>では、「健康のため(35.4%)」「楽しみ、気晴らしとして(13.2%)」、「肥満解消、ダイエットのため(12.1%)」の順となっている。

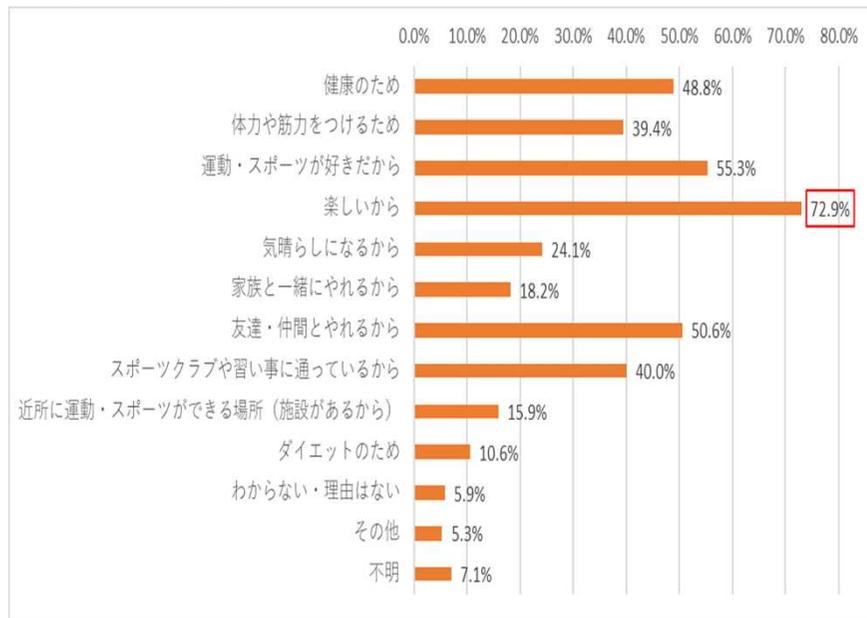
### 【国の調査結果との比較】

○運動を実施した理由の上位5項目や最も大きな理由は国と同様の結果となった。

## 2. 運動・スポーツ実施状況について

【過去1年以内に運動・スポーツを実施した理由<MA>】

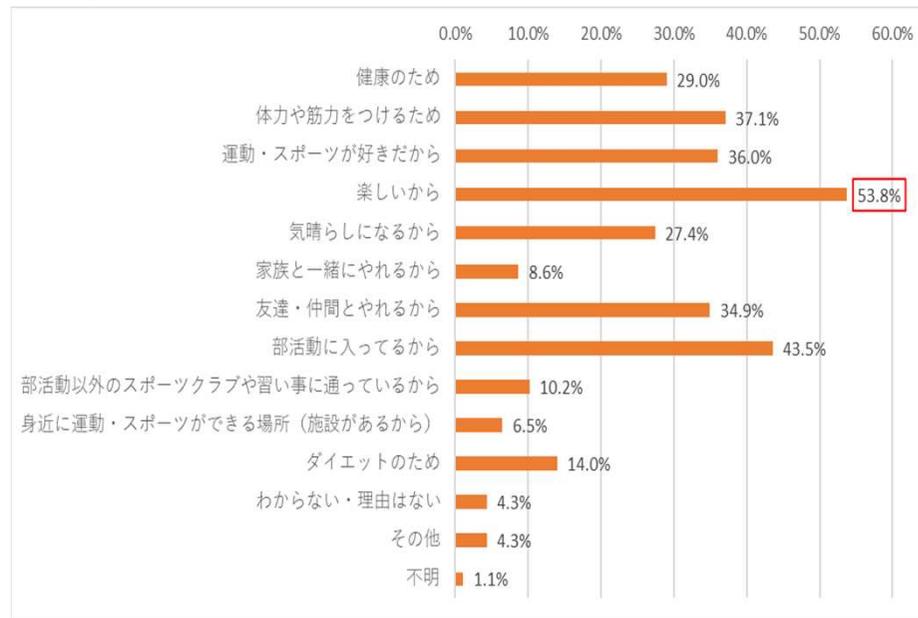
■小学生 (N=170)



### 【調査結果】

○過去1年以内に何らかの運動・スポーツをしていると回答した児童(170人)に、運動を行う理由を尋ねたところ「楽しいから(72.9%)」が最も多くなっており、次いで「運動・スポーツが好きだから(55.3%)」「友達・仲間とやれるから(50.6%)」の順で多くなっている。

■中学生 (N=186)



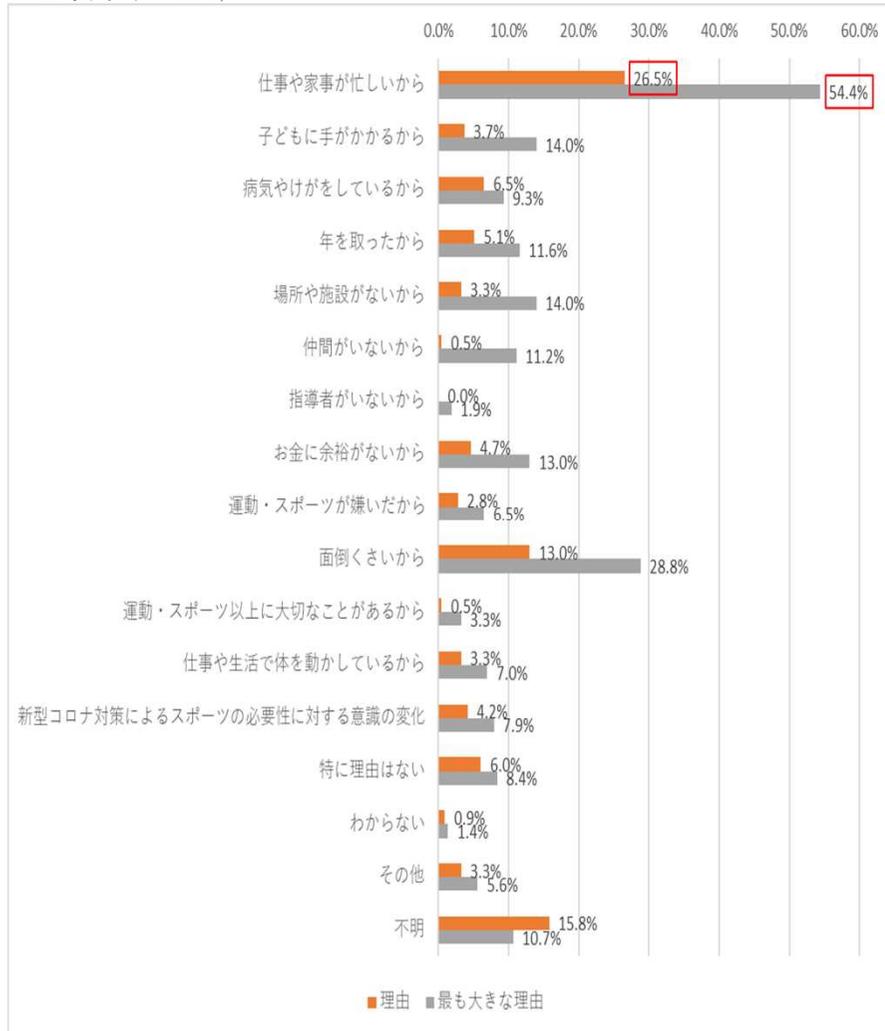
### 【調査結果】

○過去1年以内に何らかの運動・スポーツをしていると回答した生徒(186人)に、運動を行う理由を尋ねたところ「楽しいから(53.8%)」が最も多くなっており、次いで「部活動に入っているから(43.5%)」「体力や筋力をつけるため(37.1%)」の順で多くなっている。

## 2. 運動・スポーツ実施状況について

【過去1年以内に運動・スポーツを実施できなかった理由<MA>】

■市民 (N=215)



### 【調査結果】

○過去1年以内に運動・スポーツを実施しなかった理由を聞いたところ、「仕事や家事が忙しいから」を挙げた者の割合が26.5%で最も高く、次いで「面倒くさいから(13.0%)」、「病気やけがをしているから(6.5%)」の順となっている。

○最も大きな理由でも、「仕事や家事が忙しいから(54.4%)」が最も高くなっている。

### 【国の調査結果】

○過去1年以内に運動・スポーツを実施しなかった理由<複数回答>については、「仕事や家事が忙しいから」を挙げた者の割合が42.6%で最も高く、次いで「面倒くさいから(39.2%)」、「年をとったから(18.2%)」、「運動・スポーツが嫌いだから(17.3%)」、「お金に余裕がないから(15.7%)」の順となっている。

○最も大きな理由<単一回答>は、「仕事や家事が忙しいから(23.1%)」が最も高くなっている。

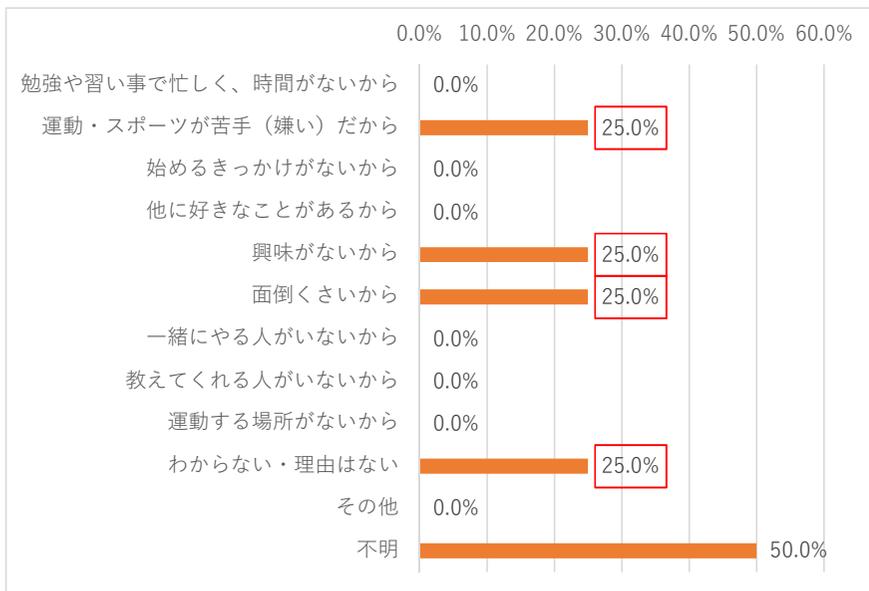
### 【国の調査結果との比較】

○運動を実施しなかった理由及び最も大きな理由は「仕事や家事が忙しいから」が最も多く、国の調査と同様の結果となった。

## 2. 運動・スポーツ実施状況について

【過去1年以内に運動・スポーツを実施できなかった理由<MA>】

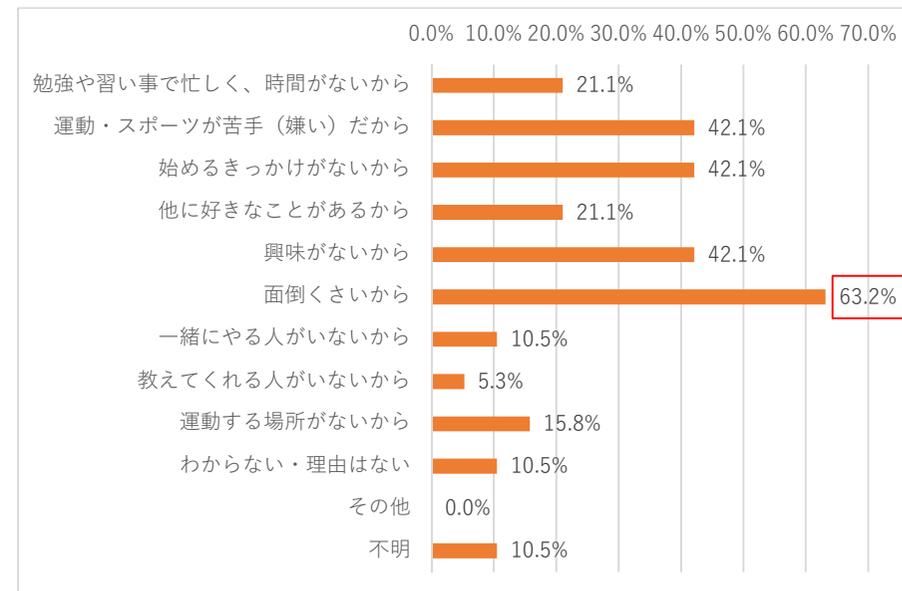
■小学生 (N=4)



### 【調査結果】

○過去1年以内に運動・スポーツを全くしていない児童(4人)に、実施できなかった理由について尋ねると、「運動・スポーツが苦手だから(25.0%)」「興味がないから(25.0%)」「面倒くさいから(25.0%)」「わからない・理由はない(25.0%)」が同順となっている。

■中高生 (N=19)



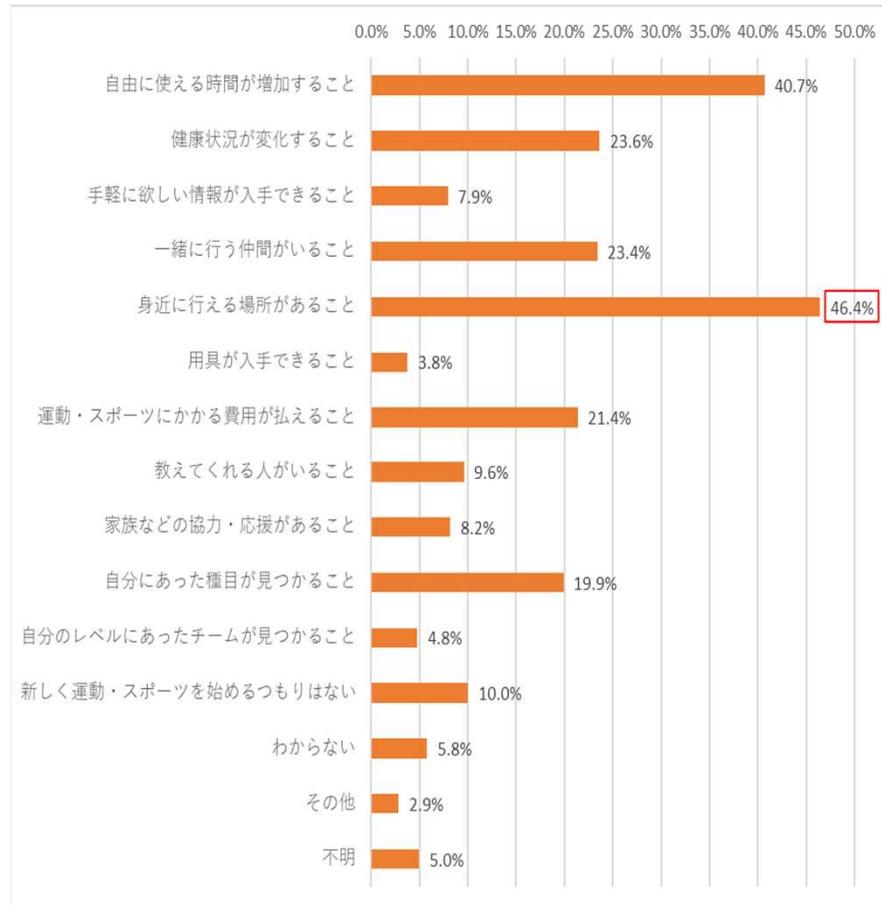
### 【調査結果】

○過去1年以内に運動・スポーツを全くしていない生徒(19人)に、実施できなかった理由について尋ねると、「面倒くさいから(63.2%)」が最も多く、次いで「運動・スポーツが苦手だから(42.1%)」「始めるきっかけがないから(42.1%)」「興味がないから(42.1%)」の順となっている。

## 2. 運動・スポーツ実施状況について

【新たに運動・スポーツをはじめるために重要だと思うこと<MA>】

■市民 (N=1146)



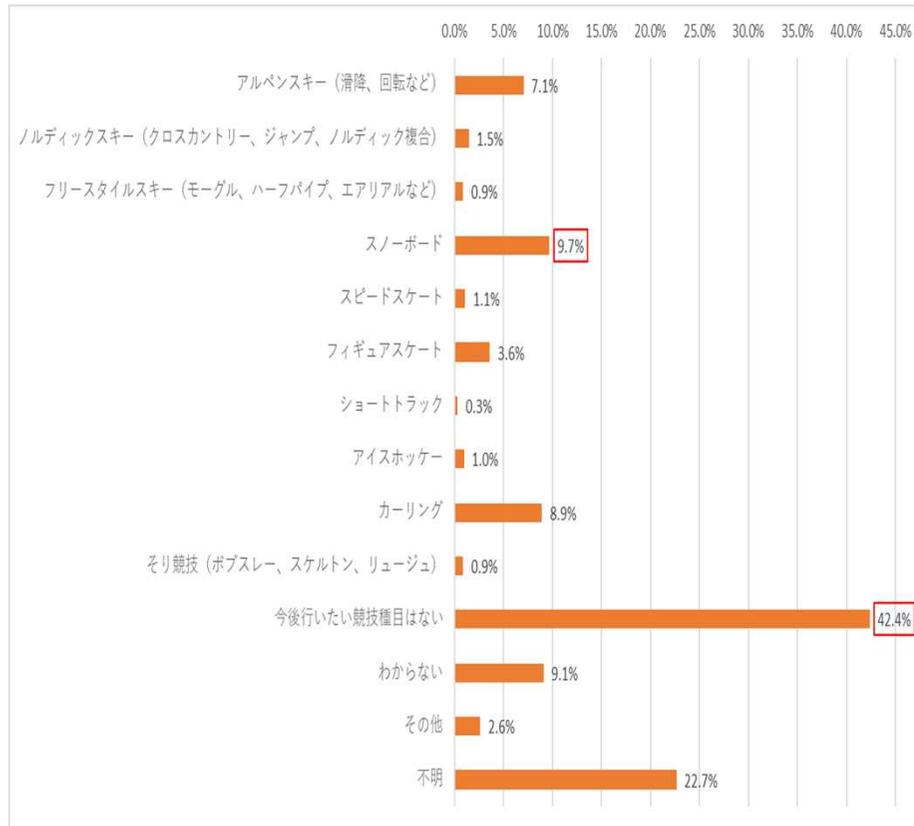
### 【調査結果】

○新たに運動・スポーツを始めるために重要だと思うことについては「身近に行える場所があること(46.4%)」が最も多く、次いで「自由に使える時間が増加すること(40.7%)」の順で多くなっている。

### 3. ウィンタースポーツについて

#### 【今後行いたいと思うウィンタースポーツ<MA>】

■市民 (N=1033)

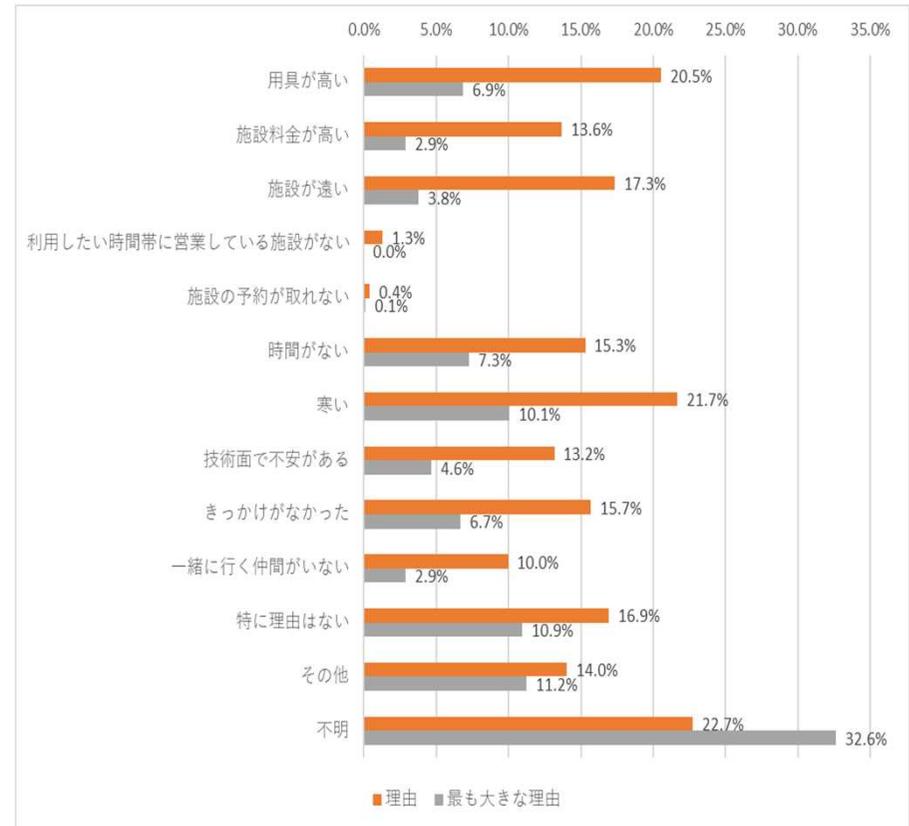


#### 【調査結果】

○今後行いたいと思うウィンタースポーツについて尋ねたところ「今後行いたい競技種目はない(42.4%)」と最も多かった。次いで「スノーボード(9.7%)」「カーリング(8.9%)」「アルペンスキー(7.1%)」の順で多くなっている。

#### 【過去1年以内にウィンタースポーツを実施していない理由<MA>】

■市民 (N=1033)



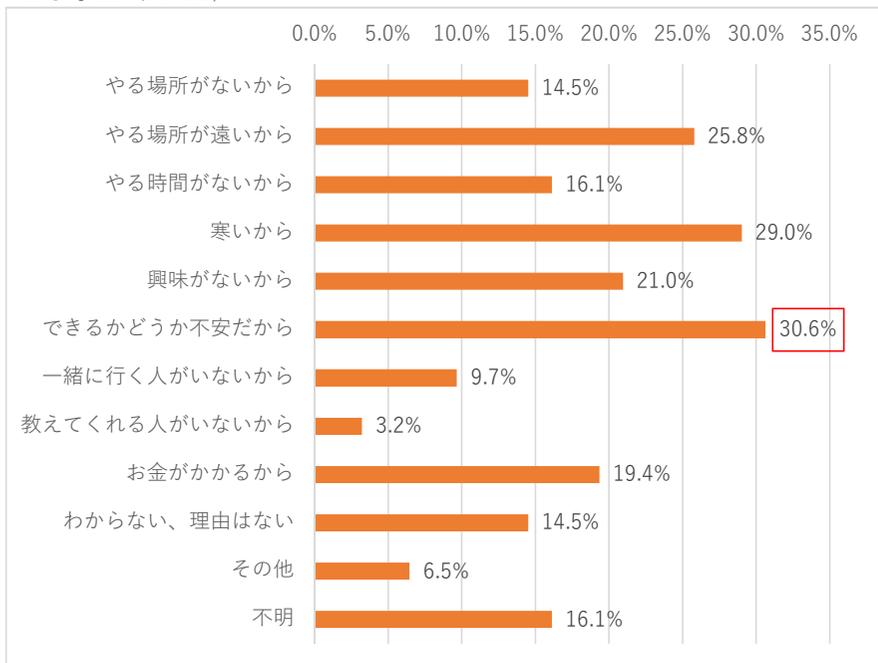
#### 【調査結果】

○過去1年以内にウィンタースポーツを実施していない理由について尋ねたところ「寒い(21.7%)」「用具が高い(20.5%)」の割合が多く、次いで「施設が遠い(17.3%)」「特に理由はない(16.9%)」「きっかけがなかった(15.7%)」という順で多くなっている。  
○最も大きな理由としては「その他(11.2%)」「特に理由はない(10.9%)」「寒い(10.1%)」という結果となった。その他の主な内容としては「持病、ケガ、年齢」などの理由が多くなっている。

### 3. ウィンタースポーツについて

【過去1年以内にウィンタースポーツを実施していない理由<MA>】

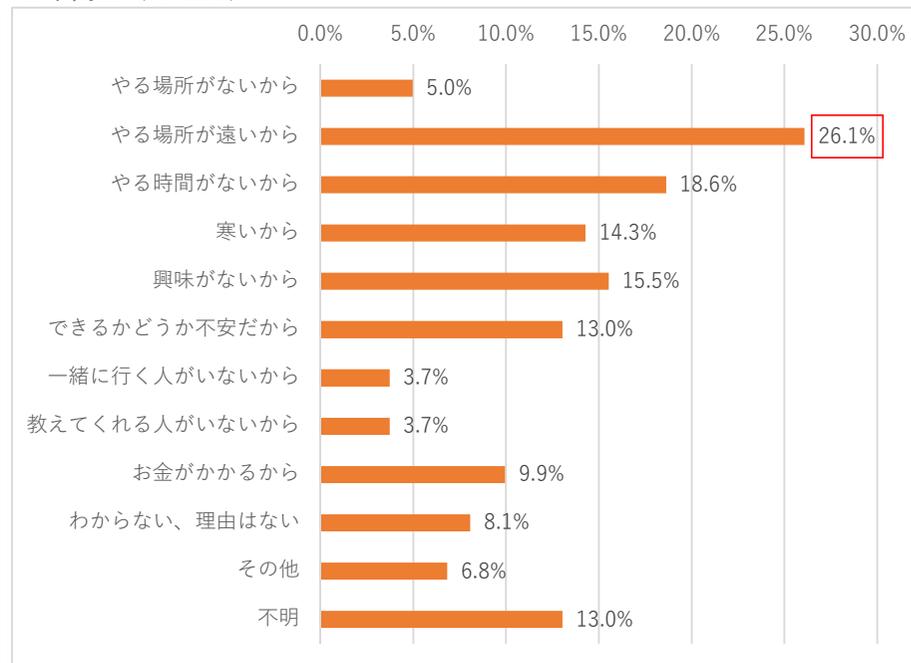
■小学生 (N=62)



**【調査結果】**

○過去1年以内にウィンタースポーツをしていないと回答した児童(62人)に、ウィンタースポーツを実施していない理由について尋ねたところ「できるかどうか不安だから(30.6%)」が最も多く、次いで「寒いから(29.0%)」「やる場所が遠いから(25.8%)」「興味がないから(21.0%)」の順で多くなっている。

■中高生 (N=161)



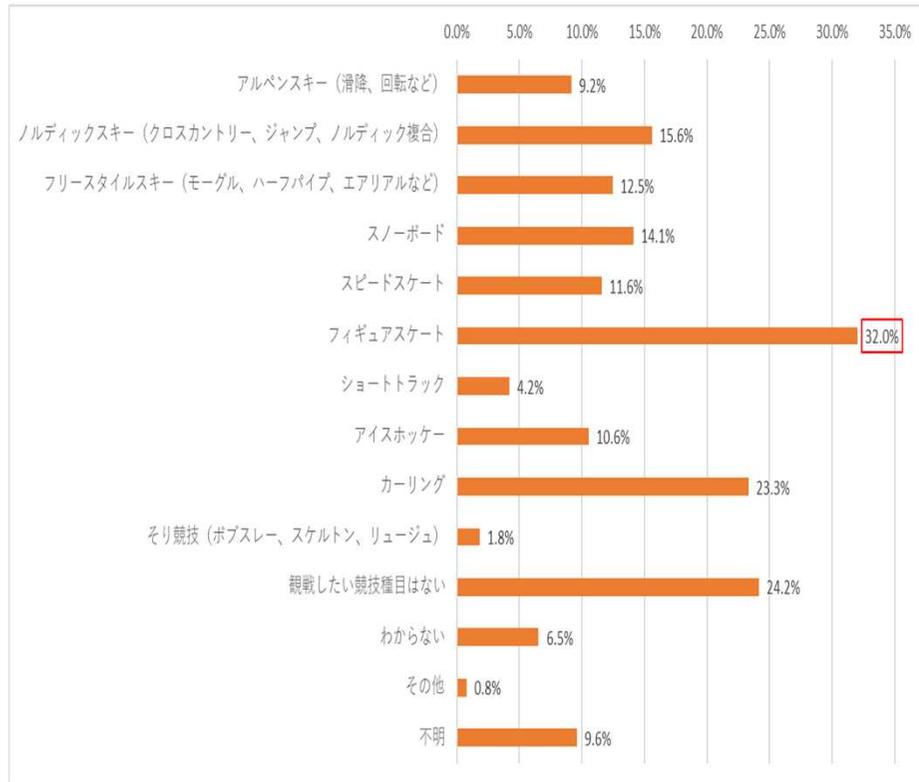
**【調査結果】**

○過去1年以内にウィンタースポーツをしていないと回答した生徒(161人)に、ウィンタースポーツを実施していない理由について尋ねたところ「やる場所が遠いから(26.1%)」が最も多く、次いで「やる時間がないから(18.6%)」「興味がないから(15.5%)」「寒いから(14.3%)」の順で多くなっている。

### 3. ウィンタースポーツについて

#### 【直接観戦したいウィンタースポーツ<MA>】

■ 市民 (N=1146)



#### 【調査結果】

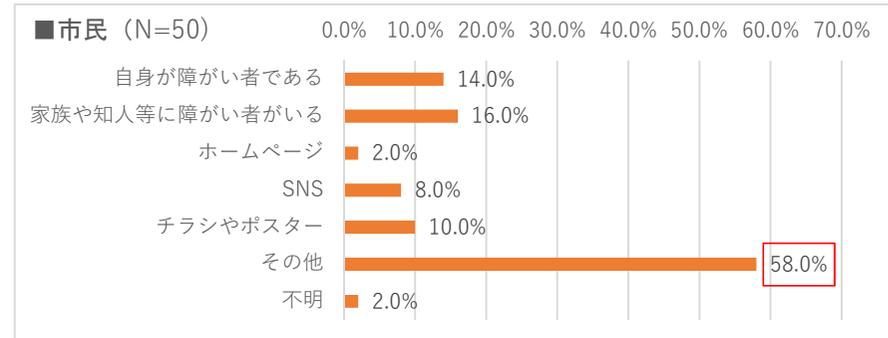
○直接観戦したいウィンタースポーツについては「フィギュアスケート(32.0%)」が最も多くなっており、次いで「観戦したい競技種目はない(24.2%)」「カーリング(23.3%)」の順で多くなっている。

#### 4. 障がい者スポーツとの関わりについて(市民アンケートのみ)

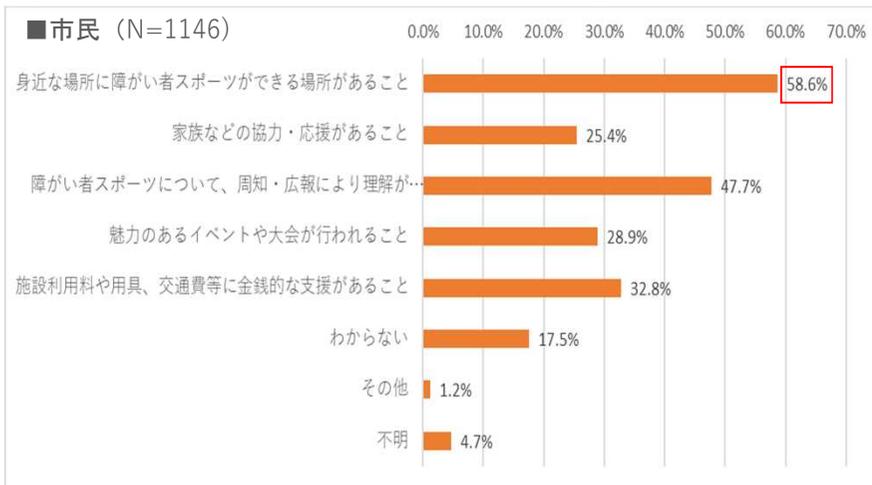
【障がい者スポーツに関わった経験(観戦・支援など) <SA>】



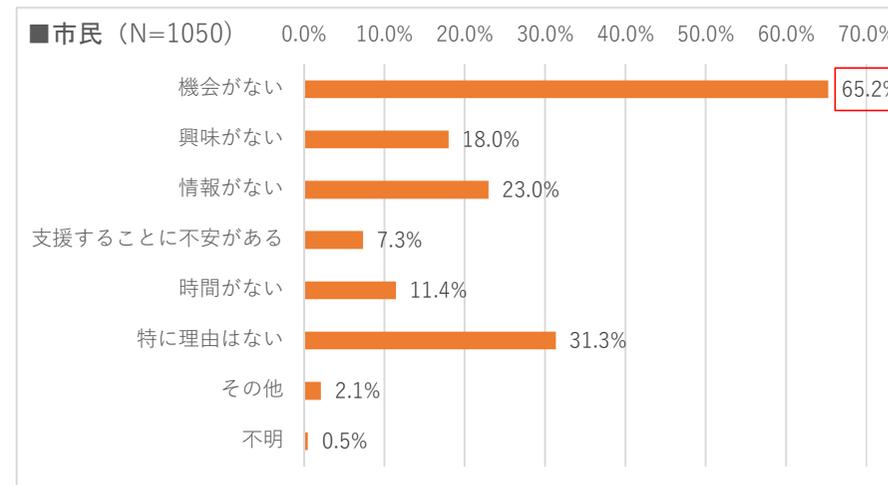
【障がい者スポーツに関わったきっかけ<MA>】



【障がい者スポーツ振興のために必要なこと<MA>】



【障がい者スポーツに関わったことがない理由<MA>】

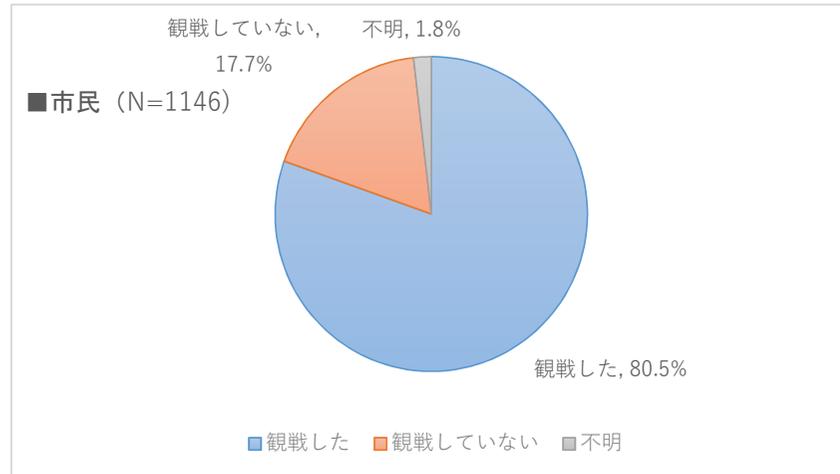


【調査結果】

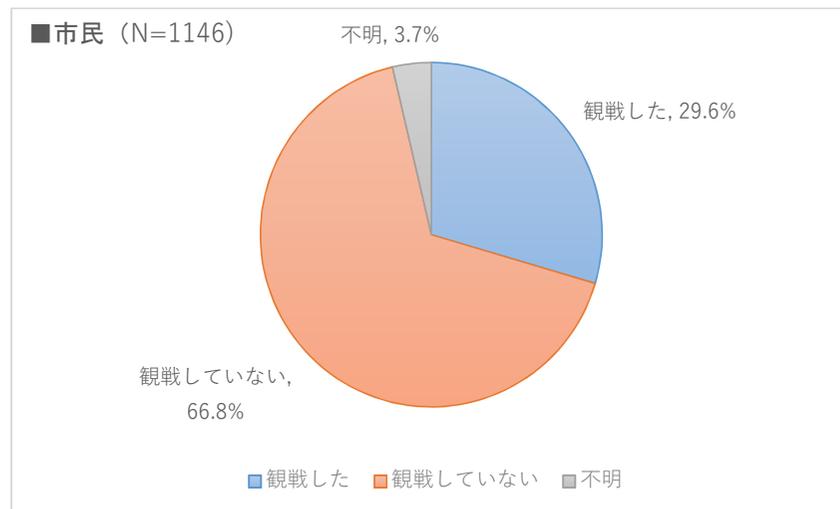
- 障がい者スポーツに関わった経験については「ある(4.4%)」「ない(91.6%)」と経験がない市民が約9割となっている。
- 関わった経験があると回答した方(50人)のきっかけについては、選択肢以外の「その他(58.0%)」が最も多くなっており、次いで、「家族や知人に障がい者がいる(16.0%)」「自身が障がい者である(14.0%)」の順で多くなっている。「その他」の主な理由としては「テレビ、仕事、学校、知人のすすめ」といった回答が多くなっている。
- 関わった経験がないと回答した方(1050人)の理由については、「機会がない(65.2%)」と最も多くなっており、次いで「特に理由はない(31.3%)」「情報がない(23.0%)」の順で多くなっている。
- 障がい者スポーツ振興に必要なことは「身近な場所に障がい者スポーツができる場所があること(58.6%)」が最も多く、「障がい者スポーツについて、周知・広報により理解が深まること(47.7%)」の順に多くなっている。

## 5. スポーツ観戦について

### 【過去1年間のスポーツ観戦の有無<SA>】



### 【過去1年間の直接スポーツ観戦の有無<SA>】



#### 【調査結果】

○過去1年間のスポーツ観戦の有無については「観戦した(80.5%)」「観戦していない(17.7%)」と観戦した方が8割を占めている。

○過去1年間の直接スポーツ観戦の有無については、「観戦した(29.6%)」「観戦していない(66.8%)」と観戦していないが約7割となっており、直接観戦は少なくなっているが、R3の直接スポーツ観戦率22.4%よりは多い結果となった。

#### 【国の調査結果】

○過去1年間に「テレビやインターネットで」スポーツを観戦した割合は72.2%（「見なかった(27.8%)」を除く。）となっている。

○「直接現地で」観戦したスポーツ種目を聞いたところ、「見なかった(84.6%)」を挙げた者の割合が最も高くなっており、「直接現地で」観戦した割合は15.4%（「見なかった(84.6%)」を除く。）となっている。

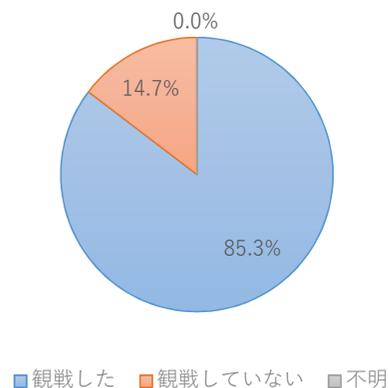
#### 【国の調査結果との比較】

○スポーツ観戦及び直接スポーツ観戦については、国の結果よりも「観戦した」割合が多い結果となっている。

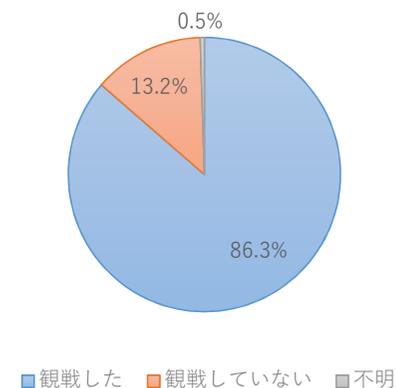
## 5. スポーツ観戦について

### 【過去1年間のスポーツ観戦の有無<SA>】

■小学生 (N=177)

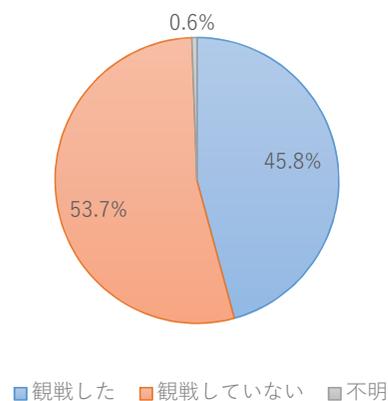


■中高生 (N=205)

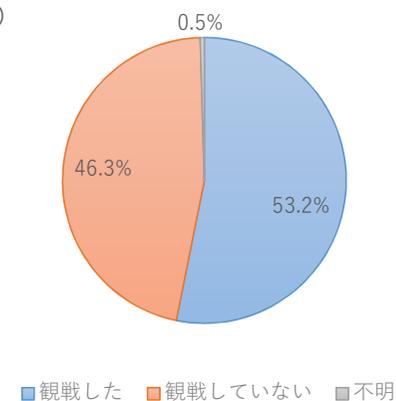


### 【過去1年間の直接スポーツ観戦の有無<SA>】

■小学生 (N=177)



■中高生 (N=205)



#### 【調査結果】

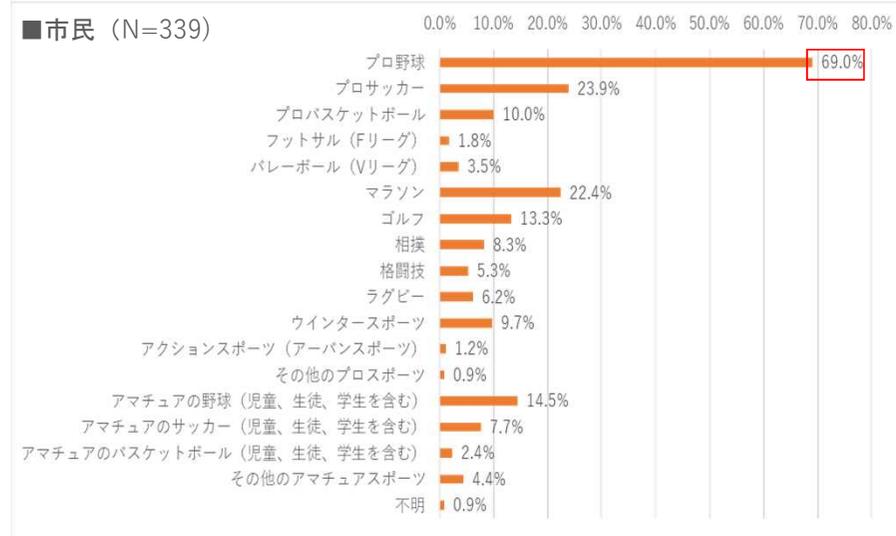
○過去1年間のスポーツ観戦の有無について、小学生は「観戦した(85.3%)」「観戦していない(14.7%)」と観戦した人が8.5割を占めている。  
○過去1年間の直接スポーツ観戦の有無については、「観戦した(45.8%)」「観戦していない(53.7%)」と観戦していない児童が5割を超えており、直接観戦は少なくなっている。

#### 【調査結果】

○過去1年間のスポーツ観戦の有無について、中高生は「観戦した(86.3%)」「観戦していない(13.2%)」と観戦した人が8.5割を占めている。  
○過去1年間の直接スポーツ観戦の有無については、「観戦した(53.2%)」「観戦していない(46.3%)」と観戦した生徒が5割を超えている。

## 5. スポーツ観戦について

### 【直接観戦したスポーツの種類＜SA＞】



#### 【調査結果】

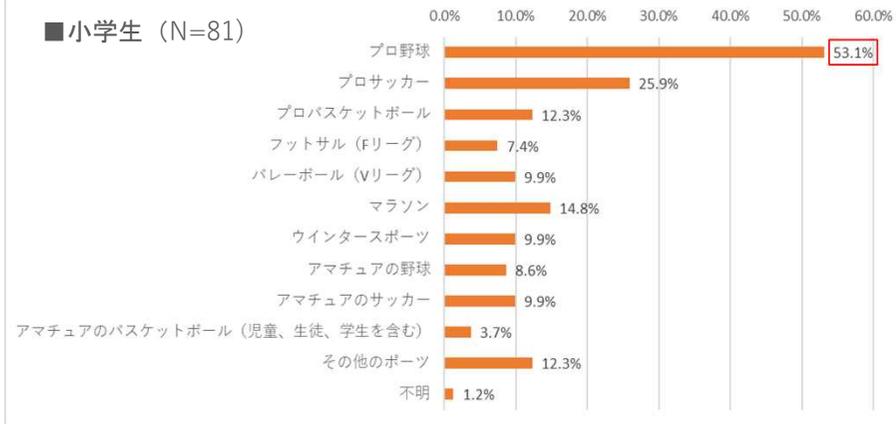
○直接スポーツ観戦をしたと回答した方(339人)の観戦したスポーツの種類については、「プロ野球(69.0%)」と最も多くなっており、次いで「プロサッカー(23.9%)」「マラソン(22.4%)」の順で多くなっている。

#### 【国の調査結果】

○直接観戦したスポーツ種目は、「プロ野球」を挙げる者の割合が6.8%と最も高く、次いで「Jリーグ(2.8%)」、「高校野球(2.6%)」の順となっている。

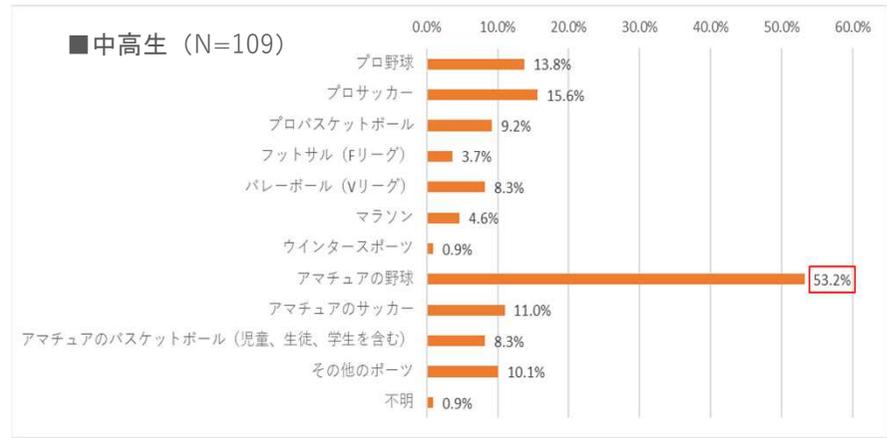
#### 【国の調査結果との比較】

○国と同様に「プロ野球」と「プロサッカー」を観戦した割合が高くなっている。



#### 【調査結果】

○直接スポーツ観戦をしたと回答した児童(81人)の観戦したスポーツの種類については、「プロ野球(53.1%)」と最も多くなっており、次いで「プロサッカー(25.9%)」の順で多くなっている。



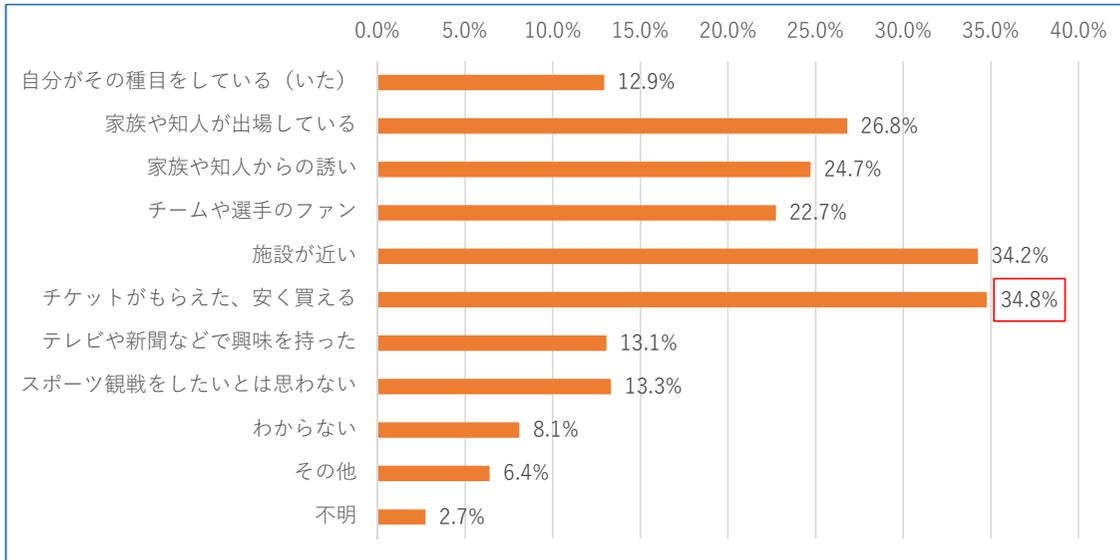
#### 【調査結果】

○直接スポーツ観戦をしたと回答した生徒(109人)の観戦したスポーツの種類については、「アマチュアの野球(53.2%)」と最も多くなっており、次いで「プロサッカー(15.6%)」「プロ野球(13.8%)」の順で多くなっている。

## 5. スポーツ観戦について

【どのようなきっかけがあればスポーツ観戦をしたいと思うか<MA>】

■市民 (N=765)



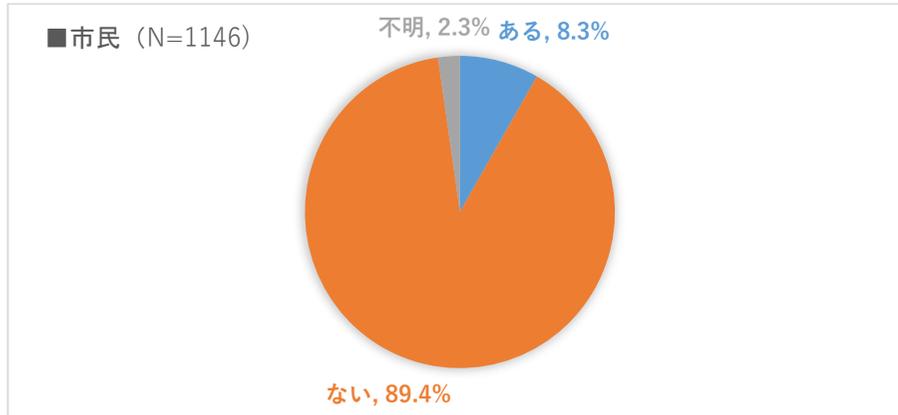
### 【調査結果】

○直接スポーツ観戦をしていないと回答した方(765人)に、どのようなきっかけがあればスポーツ観戦をしたいと思うか尋ねたところ、「チケットがもらえた、安く買える(34.8%)」「施設が近い(34.2%)」の割合が高くなっており、次いで「家族や知人が出場している(26.8%)」「家族や知人からの誘い(24.7%)」「チームや選手のファン(22.7%)」の順となっている。

○「スポーツ観戦をしたいとは思わない」と回答した方は13.3%という割合となっている。

## 6. スポーツボランティアについて(市民アンケートのみ)

### 【スポーツボランティアの経験<SA>】



#### 【調査結果】

○過去1年以内のスポーツボランティアの経験については「ある(8.3%)」「ない(89.4%)」と経験がない市民が約9割となっている。

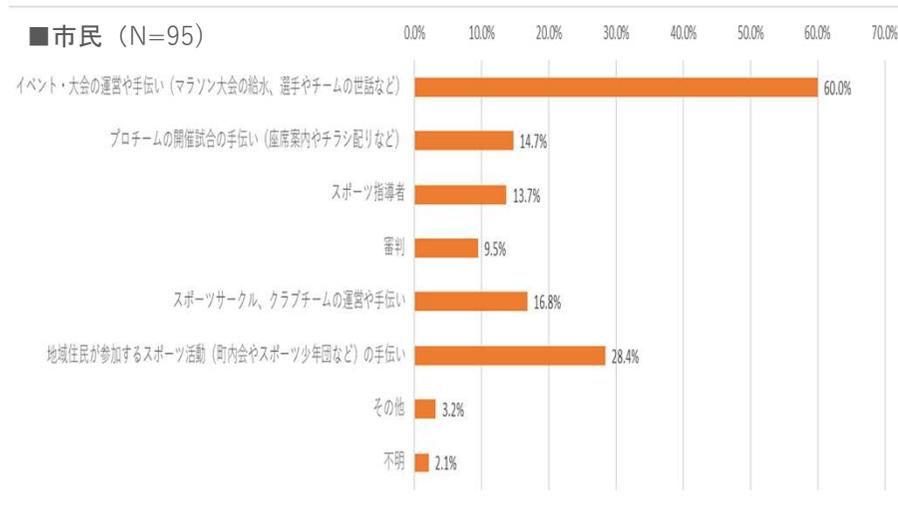
#### 【国の調査結果】

○「ボランティアを行った」とする割合は8.2%（「日常的・定期的に行った(3.8%)」+「イベント・大会で不定期に行った(4.4%)」)、「行っていない」割合は86.6%、「わからない」割合は5.3%となっている。

#### 【国の調査結果との比較】

○スポーツボランティアの経験については「ある」と答えた割合が国と同様の結果となっている。

### 【経験したスポーツボランティアの種類<MA>】



#### 【調査結果】

○過去1年以内に経験したスポーツボランティアの種類については、「イベント・大会の運営や手伝い(60.0%)」が最も多くなっており、次いで、「地域住民が参加するスポーツ活動の手伝い(28.4%)」の順で多くなっている。

#### 【国の調査結果】

○「自身やお子様が所属するスポーツ団体やクラブでの補助的な活動」を挙げる者の割合が25.9%で最も高く、次いで「運動・スポーツの指導(25.4%)」、「スポーツクラブ・団体の運営や世話(23.6%)」となっている。

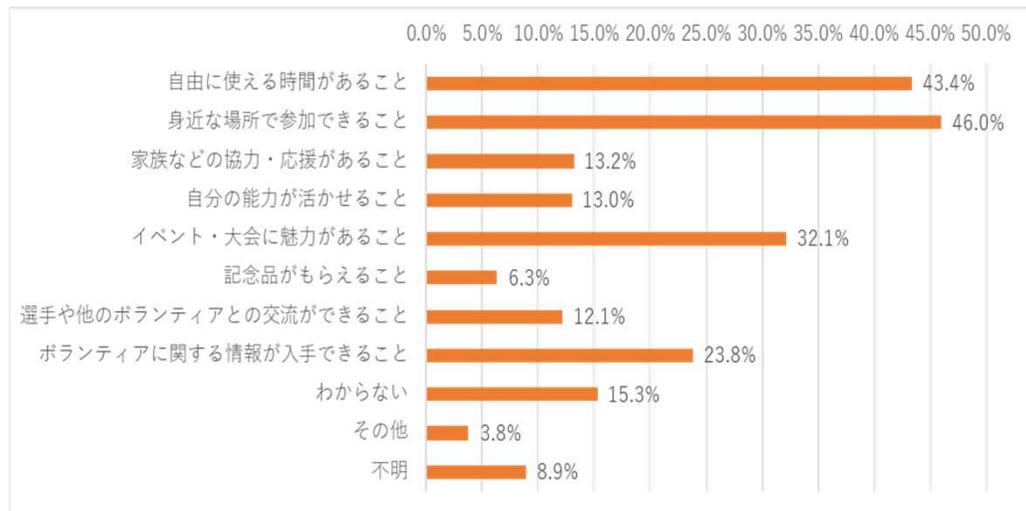
#### 【国の調査結果との比較】

○スポーツボランティアの種類については「イベント・大会の運営や手伝い」が国よりも多い結果となっている。

## 6. スポーツボランティアについて(市民アンケートのみ)

【スポーツボランティアをするために重要だと思うこと<MA>】

■市民 (N=1146)



### 【調査結果】

○スポーツボランティアをするために重要だと思うことについては、「身近な場所で参加できること(46.0%)」「自由に使える時間があること(43.4%)」と割合が高くなっている。次いで「イベント・大会に魅力があること(32.1%)」「ボランティアに関する情報が入手できること(23.8%)」の順で多くなっている。